

長崎県「がんばらんば長崎」地域づくり支援事業
「島原半島GAMADASUプロジェクト」

『島原薬食育プロジェクト』

— 島原薬草・ハーブブランドの確立を目指して —

平成26年12月18日

国立大学法人 長崎大学

1. 「島原薬食育プロジェクト」の趣旨

薬草パン



— 伴製菓舗：ラトリエ・ドゥ・バン —

薬草料理

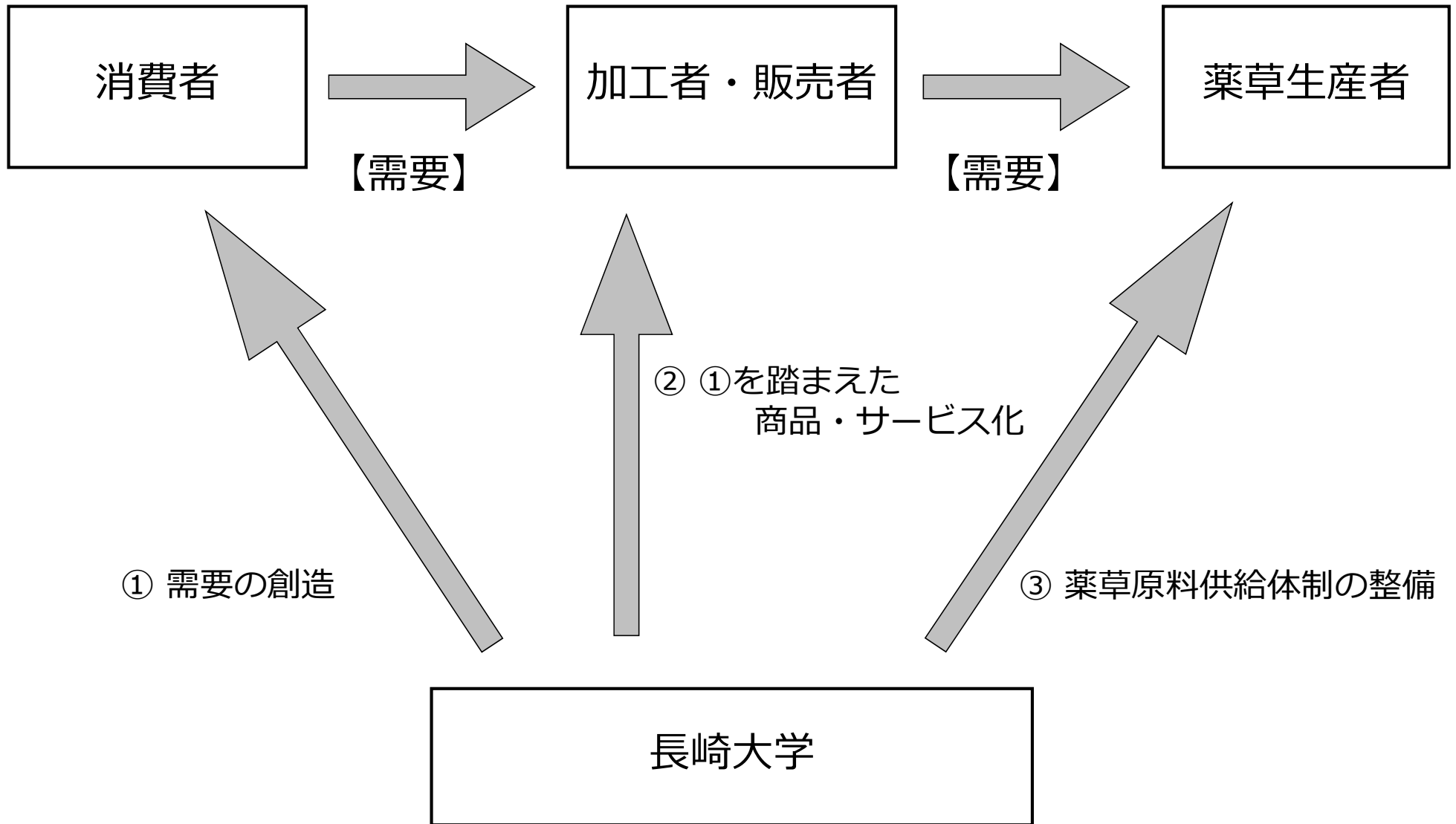


— 雲仙観光ホテル 山本洋食料理長提供 —



「島原薬食育プロジェクト」は、
古くから薬草に注目していた
島原半島の歴史・伝統を踏まえ、薬草を通じ、
地域経済の活性化を目指しています。

2. 島原薬食育プロジェクトのイメージ



3. 薬草関連商品①

事業者名	商品名	事業者概要	販売状況
島原薬草健	薬草パウダー	2012年設立 (平成23年)	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年2月から薬草を乾燥粉末化させ「食べる薬草」シリーズとして販売中。 現在、クズバナ、タンポポ、メナモミ、ノブドウ、トウキ、オオバコ、ナズナ、ウイキョウの8種類を販売中。 平成26年度長崎大学リレー講座にて金美齡氏、岡崎朋美氏など各界著名人講師へのお土産として活用。
	薬草塩		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年11月から雲仙エコロ塩の塩をもとにノブドウ塩、ウイキョウ塩、ナズナ塩の3種類を販売中。
	薬草ブレンド茶		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年2月から長崎県産のノブドウ、オオバコを使ったブレンド茶を販売中。
久間山水園	ツフブキの佃煮 ツフブキの粕漬 ツフブキの味噌漬	創業1993年 (平成5年)	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年4月からツフブキの佃煮や粕漬を販売。耕作放棄地を活用して独自の方法で自然栽培した「山ツフブキ」を使用。 平成26年6月からツフブキの味噌漬も販売開始。 ツフブキを刻んだコロッケもイベントなどで販売を開始。
遠江屋	薬草入り温泉 ゴーフレット	創業1950年 (昭和25年)	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年3月からショウガ、ヨモギ、ウイキョウの3種類を販売中。
しきしま 蒲鉾	薬膳ヘルシー 蒲鉾	創業1958年 (昭和33年)	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年2月からウイキョウ、オオバコ、ナズナの蒲鉾を販売中。 あわせてお中元でセットとして販売。 平成25年11月からクコ、シソ、ユズを加え「薬膳ヘルシー蒲鉾セット」をお歳暮用に販売開始。 好評につき平成26年度のお中元やお歳暮でも販売。
よしだや	薬草ゆず胡椒	創業1993年 (平成5年)	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年11月から島原半島産のタンポポ、ウイキョウ、オオバコを使ったゆず胡椒を販売中。



薬草入り
温泉ゴーフレット
(遠江屋)



薬膳ヘルシーかまぼこ
(しきしま蒲鉾)



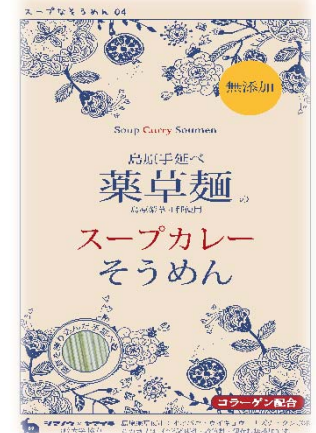
薬草ゆず胡椒
(よしだや)

— 3. 薬草関連商品② —

事業者名	商品名	事業者概要	販売状況
山崎本店 酒造場	シマバライチゴ フランボワーズ	創業1893年 (明治26年)	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県の天然記念物シマバライチゴの実を使ったリキュール。 ・平成26年1月22日から福岡三越（福岡市）で200本を限定販売。パッケージのデザイン性の高さと同シーズン前だったということもあり女性向けプレゼントとして人気だった。 ・今シーズンも販売予定。
めんの山一	島原手延べ 薬草麵の スープカレー そうめん	創業1972年 (昭和47年)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年2月1日から販売。島原半島産のオオバコ、ウイキョウ、ナズナ、タンポポを使用。県立島原農業高校とめんの山一の産学連携「スープそうめんシリーズ」の第4弾。島原スペシャルクオリティ認定商品。 ・平成26年度長崎大学リレー講座にて金美齡氏、岡崎朋美氏など各界著名人講師へのお土産として活用。 ・長崎デザインアワード2014で奨励賞を受賞。
長田製茶	薬膳茶	創業1953年 (昭和10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年4月から販売開始。 ・島原半島産のシマバライチゴの葉、ユズ、ドクダミ、イチゴなどを使用。
路地裏cafe	島原薬膳 ポップコーン	2014年設立 (平成26年)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年5月から長崎市で長崎オリジナルポップコーンを提供する専門店としてオープン。 ・島原薬膳を使ったポップコーンは「具雑煮ポップコーン」、「イタリアンポップコーン」、「タンポポウイキョウポップコーン」、「ココナッツカレーポップコーン」、「中華ポップコーン」の5種類。島原半島産のウイキョウ、オオバコ、ノブドウを使用。島原薬膳に加え、カステラ味、チャンポン味などもあり新しい長崎の名物として話題。 ・平成26年10月、島原薬草のノブドウを使った「ノブドウショコラ」が新しく追加。 ・長崎デザインアワード2014で入選。



シマバライチゴ
フランボワーズ
(山崎本店酒造場)



島原手延べ薬草麵の
スープカレーそうめん
(めんの山一)



島原薬膳ポップコーン
(路地裏Cafe)

— 4. 料理・メニュー —

事業者名	事業者概要	販売状況
雲仙観光ホテル	1935年オープン (昭和10年)	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年10月から伴製菓舗のウイキョウパンを提供中。 現在、ディナーのレギュラーメニューとして島原半島の鹿肉とウイキョウのソーセージを提供中。またランチやディナー等でサラダに混ぜて薬草を活用。 平成26年6月からウイキョウジャムの販売を開始するとともに、ホテルの朝食でも提供中。 山本洋食料理長考案の島原半島産野菜を使った「オープンサンド」を雲仙市小浜町の「刈水庵」で提供。8月にはフェンネル(ウイキョウ)を練りこんだパンを使用。
伴製菓舗 (ラトリエ・ドウ・パン)	創業1954年 (昭和29年) *2008年からラトリエ・ドウ・パンとしてオープン	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年7月から薬草入りパン約8種(ブリオッシュ、フオカッチャ、ベーグル等)、薬草クッキー、薬草カステラを販売開始。 島原半島産のオオバコ、ヨモギなどを使用。 地元で口コミによる人気が広がりつつある。 今年度から福岡にある福砂屋直営のCafé(カフェ・パンデロー)にも薬草入りのパンを提供中。
青雲荘 (長崎バスグループ)	1959年オープン (昭和34年)	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年の秋のメニューで天ぷらにウイキョウやオオバコ、つけ塩にナズナ、オオバコを使用するなど薬草を取り入れたメニューを提供。 平成25年12月から薬草を使った「しまばら薬草塩」を朝食バイキングで提供中。 平成26年秋にヘルシー志向のさくらプランで「雲仙活活(いきいき)豚 薬草しゃぶ」を提供。
青い理髪館	2000年オープン (平成12年)	<ul style="list-style-type: none"> 1923年(大正12年)に建てられた木造二階建ての建物で、県内外の観光客にも人気のスポット。 平成25年2月から手作り薬草ピザを提供中。
テラハウス	2014年オープン (平成26年)	<ul style="list-style-type: none"> 本プロジェクトのスタッフであった坂上千恵氏が平成26年8月に、雲仙市を拠点に活動中のデザイナー城谷耕生氏のプロデュースで注目されている雲仙市小浜町の刈水地区に活動拠点を設置。 同拠点において島原半島産の薬草を使った薬膳料理教室、フェンネル(ウイキョウ)ジャムの加工製造と販売、さまざまな自然食品の販売を行っている。 刈水デザインマーケットやナガサキリンネなどさまざまなイベントにも出店。



ウイキョウジャム
(雲仙観光ホテル)



テラハウス



薬草を活用した
メニューを提供
(青雲荘)

— 4. 料理・メニュー —

事業者名	事業者概要	販売状況
アルレッキーノ	2013年オープン (平成25年)	<ul style="list-style-type: none">・島原市がプロデュースする美しいロケーションとゆったりとした空間そして島原半島の旬の素材を活かした本格的なイタリアンが話題のレストラン。・通常のメニューではフェンネル（ウイキョウ）を中心に随時薬草を活用。・「薬草フェア」では薬草を使用したディナー（ウイキョウパン、トウキのグリッシーニ、ウイキョウのマリネーゼ、タンポポやショウガを使ったジャムソースなど）を提供。・平成26年度のクリスマスでも薬草を使ったメニューなどを提供予定。



アルレッキーノ

5. 平成26年度の主な動き

指標	目標	平成26年4月～平成26年10月まで
平成25年売上げ	約8142万円(注)	
販売商品数		92品販売中(平成26年度10月まで)
	平成24年度まで	37商品開発販売 タンポポ焼きそば、タンポポカレー、ホットケーキ(オオバコ、メナモミ、ノブドウなどを使用)、メナモミアイス、発酵ヨモギ、温泉ゴーフレット(ヨモギ、ウイキョウ、ショウガ)、ツワブキの佃煮・粕漬など
	平成25年度	48商品開発販売 【商品】 薬草パウダー、薬草塩、ノブドウティ、薬膳蒲鉾セット(お中元・お歳暮向け)、薬草パン(タンポポ、オオバコ、ヨモギなどを使用)、薬草ピザ、薬草ゆず胡椒、シマバライチゴリキュール、薬草麺、薬膳茶など 【サービス】 朝食バイキングでの薬草塩の活用、薬草ディナーメニューなど
	平成26年度	13商品開発販売 島原薬膳ポップコーン、ウイキョウ・ハウレンソウのプチパンや食パン、ツワブキの味噌漬など
	現在開発中	薬草鍋、薬草チャンポン、薬膳カレー、ハーブボール、薬草を活用した料理教室など
平成26年度(4月～10月)売上げ	平成25年度以上	1億980万円(注)

(注) ホテル関係の売上げについては薬草商品を含む食事代を計上

6. 主なPR・販売活動

平成26年	イベントなど	内容・目的
	Facebookページを使つての情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品などの情報 ・「葉草フェア」、「ジオマルシェ」などのイベント情報
	(参考) 長崎大学による情報発信 (お土産)	<p>「長崎大学リレー講座2014」</p> <p>10/6 (月) 金美齡氏 (評論家)</p> <p>11/15 (水) 西本智美氏 (イルミナート芸術監督・首席指揮者等)</p> <p>11/18 (火) 黒田玲子氏 (東京理科大学教授/東京大学名誉教授/国連科学諮問委員会)</p> <p>11/28 (金) 岡崎朋美氏 (元スピードスケート選手/富士急行(株)営業推進室次長)</p> <p>12/2 (火) 橘・フクシマ・咲江氏 (G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長)</p> <p>12/8 (月) 田中優子氏 (学校法人法政大学総長)</p> <p>「ホームカミングデー」</p> <p>11/8 (土) 上田勝彦氏 (本校OB/水産庁職員/コメンテーター)</p>
11月~12月	「フード・アクション・ニッポン医福食農連携事業」への協力	<p>平成26年度9月に農林水産省の「医福食農連携事業事例集」に紹介された事業内容のPRイベントへのパネル参加。</p> <p>①11/12 (水) ~14日 (金) 「アグロイノベーション&HOSPEX JAPAN」展示会 東京ビッグサイト (東京都) (全国の医福食農事業者3日間で延入場者約60,000人 来場)</p> <p>②11/25 (火) 医福食農連携「食でつながるイノベーション」 ねぶたの家 ワ・ラッセホール (青森県) (東北地方を中心に医福食農連携事業者が100人強参加)</p> <p>③12/2 (火) 医福食農連携「食でつながるイノベーション」 電気ビル みらいホール (福岡県) (一般人を含む300人強参加)</p> <p>④12/4 (木) 医福食農連携「食でつながるイノベーション」 中国新聞ホール (広島県) (一般人を含む300人強参加)</p> <p>→イベント内容を含めパネル参加団体の取り組みや商品サービスを医福食農関連専門誌・紙等で掲載。</p>





島原ジオマルシェ（月1回開催）
 ＊島原薬草健、しきしま蒲鉾、伴製菓舗、長田製茶、よしだや出店



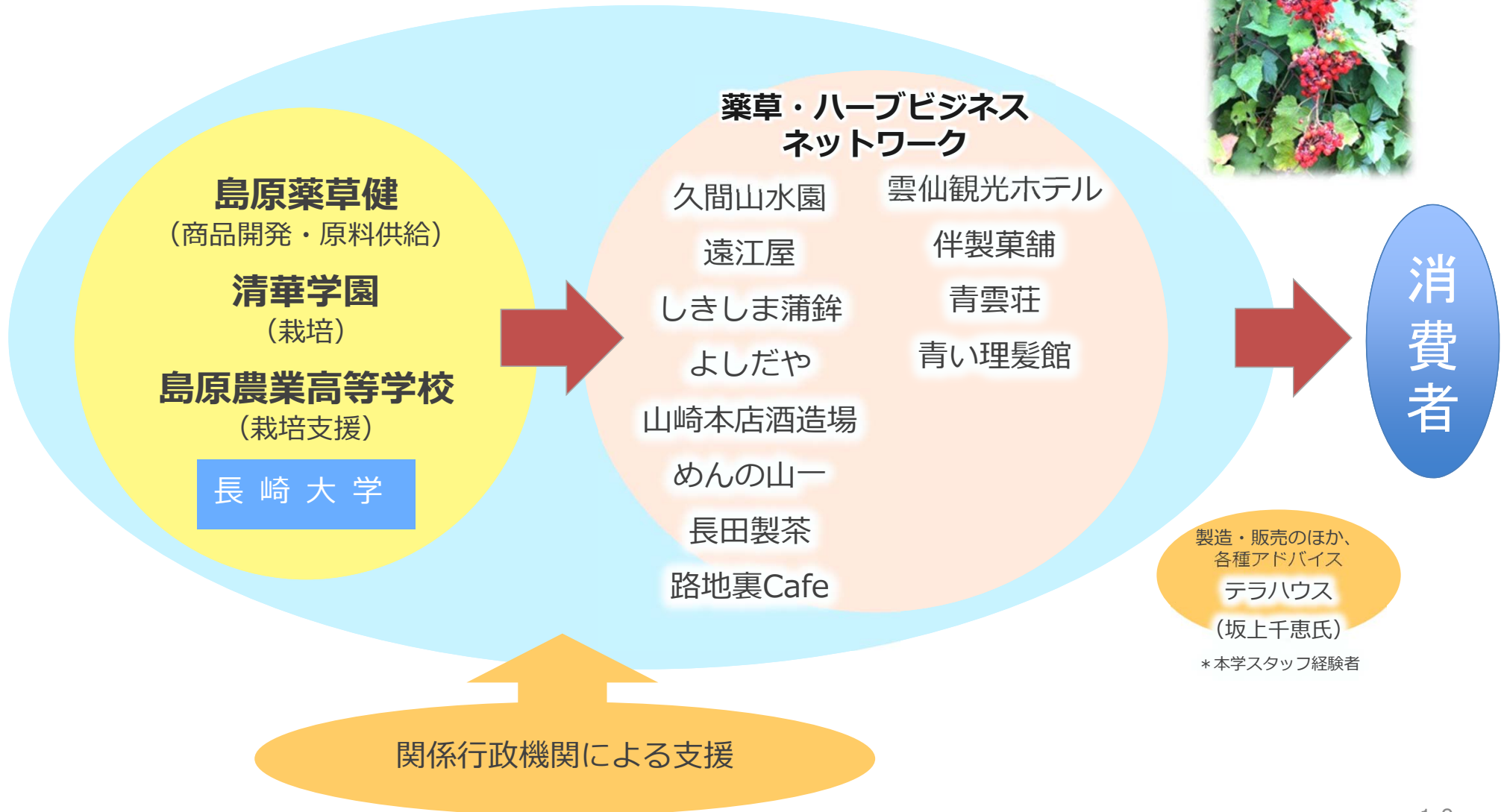
刈水デザインマーケット（5月、9月、12月開催）
 ＊遠江屋、テラハウス出店



ナガサキリンネ（2014年11月8、9日）
 ＊遠江屋、テラハウス出店

7. 今後の体制

本プロジェクトは、平成26年度も農林水産省の「医福食農連携」取組事例集（84件）に選定され、これも踏み台に、平成27年度「全国薬草シンポジウム」の島原開催に向け、今後さらなる展開を図る。



薬用作物国産化のニーズに応えた産地形成等に向けた取組

+

産学官協力

1 概要

① 取組の経緯

- 長崎県が、地域が総力を挙げて取り組む地域活性化プロジェクトに対し集中的に支援する「がんばらんば長崎」地域づくり支援事業で平成23年に採択した「島原半島『GAMADASU』プロジェクト」の一事業。
- 島原半島の活性化を図ることを目的に、長崎大学を事務局として、地元4Hクラブ、社会福祉法人、薬草栽培の会社・個人、様々な事業者をメンバーとした島原薬食育プロモート協議会を平成23年12月に設立。
- 健康志向の強い現代人に対して薬草を活用した商品や料理の提案。
- 平成25年度は、新商品開発10品目(合計商品数33品目)、売上1,000万円を目標としていたが、目標を大幅に上回る実績を達成(売上約8000万円*注)。平成26年度は平成25年度の実績値を上回るように努力。

② 取組の特徴

- 古くから薬草に注目していた島原半島の歴史・伝統を背景に、協議会を中心として薬草の関連商品や料理の開発・生産・販売まで総合的な取組を推進。
- 長崎大学薬学部や島原農業高校の知見や力を活用。
- 食品加工事業者の個性的な商品(薬草麺、ウイキョウジャム、シマバライチゴリキュール等)の開発と首都圏へのプロモーション。
- 農業経営を活性化するために4Hクラブ員等を中心とした薬草栽培を推進。
- 島原市地域再生計画『島原健康半島構想(平成17年-)』と連携。



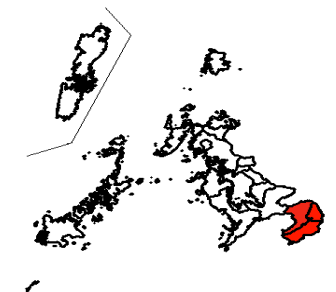
(異業種・各省連携等)

- 島原市
- 雲仙市
- 南島原市
- 長崎大学
- 島原農業高校
- 農業者
- 食品加工事業者、
- NPO法人島原薬草会
- 島原半島観光連盟

2 今後の展望と課題

- 島原特有の薬草「シマバライチゴ」を活用した商品などの開発・販売を既の実施中であるが、今後一層、商品ラインアップを充実。
- 首都圏における島原半島出身者と連携したプロモーションや薬草料理を提供する事業者を組み込んだ島原半島内ツアーの開催。
- 薬草栽培者(若手農業者・各種法人・障害者支援施設等)に必要な支援の実施。
- 平成26年度も、関係行政機関等と連携して、継続的に薬草栽培・商品販売ができる体制の整備を継続中。

(長崎県島原市、雲仙市、南島原市)



(注) 平成25年度の実績のうち、ホテル関係の売上げについては薬草商品を含む食事代を計上。